

# 法人実績報告

期間：令和5年4月～6月  
(東松山第1事業課 手塚)

(単位:名)

	新規障がい者数				合計	総数
	知的	身体	精神	その他		
センター登録者数	1	0	4	1	6	808
就職者数	11	2	6	1	20	483
実習者数 (のべ件数)	3	0	5	1	9	
離職者数	1	1	5	0	7	

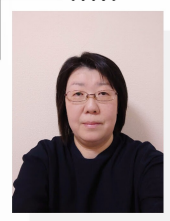
# 続 事業所別ニュース

## 事業所別 スタッフ リレートーク コーナー

法人本部・  
アセスメント室  
かとう みえ



東松山事業所  
きむら みちこ



北浦和事業所  
ねぎし ともゆき



久喜事業所  
すずき れお



■入社年月  
令和4年5月  
■血液型、星座  
A型、射手座  
■趣味  
ドラマ(特に韓国ドラマ)を観ること、無料の漫画を読むこと、プロ野球視聴、メダカの飼育  
■休日の過ごし方  
断捨離(終活を考える年齢に差しかかりましたが、なかなかはかどらないのが悩みの種です)。  
■自己紹介  
入社して1年以上過ぎたというのに、まだまだ分からないことだらけです。お役に立てるように精進していく所存ですので、よろしくご指導お願いいたします。

■入社年月  
平成19年9月  
■血液型、星座  
B型、双子座  
■趣味  
本を読むこと  
■休日の過ごし方  
家の雑事を早々に終わらせ、自分の時間を作ろうと頑張っています。  
■自己紹介  
就労移行支援、自立訓練、就労定着支援の事業に関わっています。皆さんと一緒に学び、一緒に考え、日々送れていることに感謝して頑張ります！

■入社年月  
平成19年4月  
■血液型、星座  
O型、蟹座  
■趣味  
サッカー・読書・軽登山  
■休日の過ごし方  
サッカー三昧です(プレーも審判もします)  
■自己紹介  
体力と色の黒さ、経験年数だけが自慢です。それらを少しでも業務に還元できたら…と毎日毎日考えています(色の黒さは要らないですね…)。

■入社年月  
平成28年4月  
■血液型、星座  
O型、射手座  
■趣味  
ゲーム、音楽やラジオを聞く事、ドラマ鑑賞  
■休日の過ごし方  
ゲーム、お気に入りの曲を探ること、録画したドラマやバラエティ番組を見る  
■自己紹介  
入社して7年目になりました。業務を行う中で、これからも成長し長く働き続けられるよう精進していきたいと思います！

# 発行責任

〒355-0028  
埼玉県東松山箭弓町1-11-7  
ハイムグランデ東松山2階  
特定非営利活動法人  
東松山障害者就労支援センター  
代表理事 若尾勝己

<http://www.zac-saitama.org>

0493-24-5658

r-ship-c.honbu@blue.ocn.ne.jp



vol. 62 発行日：2023年8月15日

NPO 法人 東松山障害者就労支援センター

# ZACNews

発行：特定非営利活動法人東松山障害者就労支援センター  
電話/FAX (法人本部)：0493-24-5658



ザックニュース 2023年 夏号

## 法人代表より挨拶

梅雨が明け、連日30℃超えのいよいよ夏本番という季節になりました。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、7月9日付け読売新聞オンライン版に、次の様な記事が掲載されておりました。『厚生労働省は来年度、家族を介護する若者「ヤングケアラー」への支援強化に乗り出す。介護保険事業の方向性を決める新たな基本指針の原案に盛り込み、10日に開かれる厚労省の部会で示す。介護保険の実施主体である市区町村は、介護サービスを実施するための事業計画に、支援方針をそれぞれ反映させ、地域での相談体制を拡充する。』とありました。

これまで、ヤングケアラーの問題については、広く周知されてきたことと思いますが、行政主導で具体的な対策を講じて来れた印象は薄く、問題周知にとどまっていた様に思います。私見ではありますが、民間団体が先駆的に課題を取り上げてきた経過がようやく実を結ぶことになるのでしょうか、期待したいところです。

さらに記事は続きます。『厚労省がヤングケアラーの支援を基本指針で示すのは初めて。「認知症高齢者の家族、ヤングケアラーなど家族介護者支援に取り組むことが重要」との文言を明記する。590万人いる「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者になる2025年を見据えた措置で、高齢者介護を担う若者の負担軽減策を市区町村に促す。市区町村は3年ごとに行われる介護保険法の改正に合わせ、事業計画を見直している。新たな計画は24～26年度が対象となる。介護や家事に追われるヤングケアラーは、学習や部活動の時間が制約され、同世代と人間関係を築きにくくなるとされる。心身に負荷がかかっても、自覚がないまま誰にも相談できずに体調を崩すこともある。文部科学省は、すでに学校現場での対策に着手し、社会福祉士などの有資格者が相談に乗る体制づくりを進めている。厚労省は新たな基本指針に沿って、来年度以降、各自治体に高齢者支援窓口である「地域包括支援

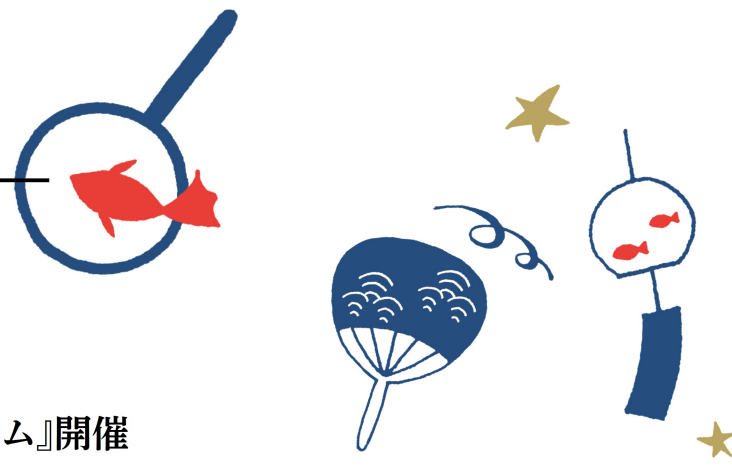
センター」の相談体制の強化を促す。地域の民生委員らと連携して支援に取り組むよう求める。このほか厚労省は、都市部と地方で人口減少や高齢化の進み方が異なるという実情を踏まえ、地域のニーズに応じた介護サービスの提供体制を整備するとの考え方を基本指針に記す。既存の介護施設や事業所の配置状況について「検討することが重要」と踏み込む。また、地域の高齢者が気軽に集い、介護予防の拠点とされる「通いの場」の活動が、新型コロナウイルスの感染拡大期間に休止していたのを受け、活動再開に向けた取り組みの重要性についても触れる。』とレポートされておりました。

ヤングケアラーの問題は、「豊かな日本」という錯覚の中で見過ごされてきた社会課題でもあり、辛らつな言葉にはなりますが、多くの周囲の者が他人事として気付かないフリ、また見て見ぬフリをしてきたのではないのでしょうか。私たち自身に何ができるのかは分かりませんが、まずはこの様な問題に関心を持ち、しっかり目を向け、そして何ができるのかを思考する、ということから始めることがとても大切だと思います。

私たちが実践している事業活動は、障害のある人への就労支援ではありませんが、大きな社会構造の中でこの問題を捉えるのであれば、少しでもヤングケアラーに成らざるを得なかった若年者の、本来あるべき生活を取り戻させることで、間接的かも知れませんが、障害者福祉・障害者就労支援業界の担い手確保や育成に繋がるのではないかと思います。特に、若くしてこのような体験(経験)をして来たことを活かさない手は無いと考えます。本年度の当法人事業におけるDI(ダイバーシティ・インクルージョン)事業推進においては、障害学生のアルバイト受入れを検討していますが、合わせてこのヤングケアラーとなった若年者の雇用やアルバイト等の受入れ先として、また就業へ向けたインターンシップの提供も検討したいと思います。職員の皆さんには、ぜひ一緒に思案いただけると有難いです。

代表理事・若尾勝己

# 事業所別ニュース



## 法人本部・本部アセスメント室

### 『令和5年度 キャリアデザインフォーラム』開催

東松山第1事業課 木村(孝)

令和5年7月5日(水)に「キャリアデザインフォーラム」が開催されました。

この企画は東松山市地域自立支援協議会の主催で、障害のある子の進路選択を補完することを目的として活動している障害者進路支援連絡協議会が企画。障害のある子を持つご家庭に対し進路選択に向けた情報提供を行うことを目的としており、当法人としては、自立支援協議会進路支援連絡協議会の委員として企画、運営に関わらせていただいております。

第1部は「障害のある子どもの進路選択」について、保護者からの体験談を講師である本多様からご講演いただきました。本多様は自閉症を持つ息子さんを育てる中で日々難しさを感じ、自閉症児の療育についての情報収集を進めていくうちに「自閉症児への早期療育」というキーワードに行きつき、いくつかの病院を受診する中で、ただ話を聞いてくれるだけでなく、理論に基づいた具体的な解決策を提示してくれる主治医に出会えたことが転機になったそうです。その後は主治医の助けを得ながら、我が子の特性や思考、行動パターンに合わせた対応を積み重ねていき今日に至っています。

また「働く」ということをイメージさせていくために、進路支援連絡協議会で行っているもう一つの取り組みである「中学生の職業体験」を利用されたという話もありました。

早期療育が大切なこと。お子さんに進路を選択させる為に様々な体験をさせていくことが大切であること。多くの体験の中の一つにはなりますが「働く」という体験をしていただくためにも「中学生の職業体験」を今後も実施していくことが重要なのではないかとあらためて気持ちを新たにしました。

第2部は市内にある、相談支援事業所や就労継続B型事業所、ハローワークや就労支援センターが集まり、参加された保護者へサービスの内容や事例を紹介させていただきました。

今年も早期からの情報収集のためにと、小学生、中学生のお子さんをもつ保護者の参加が多く見られました。

これからも保護者のニーズを把握し、必要な情報提供を行い、保護者の不安を軽減させていくとともに、お子さんの進路選択の幅が広がっていくような取り組みを、地域で作っていきたくて思いました。



本



本

## 編集後記

今回は本部・本部アセスメント室が盛り沢山の内容のため、リレートークは最終ページに移動しています。さて、各事業所へのインタビューも今回で最後。こちらも盛り沢山の内容のため、いつもとは違いQ&Aではない形式となったのですが、いかがでしょうか？是非ページをめくってご覧になってくださいね。



### 支援の効果的な利用法

支援は「就労支援のプロセス」に沿って行います。支援全体の流れを組み立てて行うことで、より質の高い支援を提供できると考えています。一連の支援の流れをアドバイザーと一緒に検討していけると良いと思います。

相談

○ 対象者から就労支援センターへ就職相談

就労アセスメント

○ 5日間程度の就労アセスメントを通じて、ご本人の傾向を整理する

仕事のマッチング

○ ご本人の傾向を基に職場を探す

職場適応支援

○ 職場適応及び定着を図るため、ジョブコーチを派遣して企業と対象者へアプローチ

職場定着支援

○ 就労支援センターへの人的サポート

### 支援利用の為の条件と手続き

県内の市町型障害者就労支援センターまたは障害者就業・生活支援センターのどちらかに支援登録してあることが条件となり、就労支援機関から依頼いただくことでご利用いただけます。また、企業からの相談もお受けしています。内容を伺い、必要な支援をご提案いたします。対象者の方が就労支援機関のご登録がなくても大丈夫です。居住地等も考慮し、就労支援機関へお繋ぎします。

### 就労アセスメント、ジョブコーチ派遣以外の活動

就労支援のスキル向上を目的とし、就労支援機関向け研修や情報交換会を開催しています。

		対 象	内 容
就労アセスメント研修	サポートセンター事業	就労支援に関わっている方	アセスメント力を高めることを目的とした、職業評価支援ツールであるワークサンプル幕張版の体験や、評価活用法に関する研修
ジョブコーチ基礎研修	当法人の活動	就労支援に関わっている方	NPO法人ジョブコーチネットワークが行っている養成研修をベースに、ジョブコーチ支援の基礎とノウハウを学ぶ研修
障害者就労支援機関情報交換会	当法人の活動	県内の市町型障害者就労支援センター	日々困っていることや新しく挑戦しようと思っていることなど、意見や経験を共有する場として開催

### 研修や情報交換会に参加したい場合

県内の就労支援機関にメールでご案内をしています。申込用紙にご記入のうえ、メールもしくはFAXでお申込みください。追って、受講についての詳細をお伝えします。

### 連絡先(北浦和事業所)

埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 障害者職場定着支援業務部門  
〒330-0074  
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5浦和合同庁舎別館1階  
TEL:048-823-9020 FAX:048-834-6980  
E-mail:jcc-teichaku@bz04.plala.or.jp

